



市子連マーク

大阪市子ども会

いくせい



大阪市子ども会
育成連合協議会

発行者 森下 秀海
令和4年6月1日

発行所：大阪市中央区法円坂1-1-35 アネックスパル法円坂 市子連広報調査部 Tel.6941-1116 Fax.6943-8906

第三十九回子ども文化祭 開催♪

一九七五年に第一回こども文化祭が開催され、以降の文化祭受賞記録(いくせい・文化部会記録を基に分かる範囲)を集めて見ました。

最優秀賞のトップ三は

鶴見区(七回)

住之江区(六回)

東淀川区(四回)

優秀賞のトップ三は

鶴見区(五回)

東住吉区(五回)

住之江区(四回)

中央区は優秀賞三回の記録でした。

今大会では

最優秀賞

鶴見区 緑連合子ども会

優秀賞

中央区 南小学校校下子ども会

東住吉区 東田辺連合子ども会

がそれぞれ受賞しました。

歴代の受賞記録を反映するよう

な内容となりましたが、参加した

他の子ども会もコロナ禍の中で立

派な演技をされました。



演技後のジュニアリーダーによるインタビューでは、各チーム様に「練習時間があまり取れなかった。」との中で、「みんなで協力して頑張った。」「お父さん・お母さんと一緒に練習した。」「お父さんと一緒に伝統の伝承の会に入った。」「楽しかった」と、子どもたちから熱いメッセージをいただきました。

子どもたちの笑顔・様々な思いを発表の舞台に送り出せるのは、育成者・指導者の皆さんの情熱が無くしては出来ないと思います。

今後もこの感動を伝えていただけるよう、「魔法の言葉」を子どもたちに贈り続けていただくようお願いいたします。



第五十九回大阪市各区子ども会対抗親善ソフトボール大会開催♪

第五十九回大阪市各区子ども会対抗親善ソフトボール大会がまん延防止措置の中、三月六日に開催されました。

十九チームが参加し、試合中も、待ち時間の間も、子どもたちはとても楽しそうに、試合に負けた時は悔しそうな顔をしていても、試合が出来てとても楽しかったと一様に言っていて帰って行きました。

天候には少し恵まれませんでしたでしたが、充実した大会だったと思います。

優勝

【福島区】

海老江東連合子ども会

ソフトボール部

キャプテン 田中 亮輔

僕たちは市の大会優勝を目指し、仲間と共に頑張ってきました。

コロナ禍の中、活動することも制限

され、そんな中でも監督はじめ指導者

の方たちのおかげで、ここまで強くなれたことに感謝しています。

最後まで海東らしく戦うことができ、優勝できて良かったです。

準優勝

【東住吉区】

田辺ジュニアアゴールド

監督 濱田

子どもたちのため、大会開催に向け

尽力頂き心より感謝致します。

東住吉区の代表として出場した市の大会。苦しい試合の連続でしたが、最後は準優勝。

子どもたちは大人になってもきっとこの事を忘れないと思います。

ありがとうございます！

第三位

【東淀川区】

豊新連合子ども会

ソフトボールチーム

主将 寺本 鳳楽

ぼくたち豊新連合子ども会は六年生八人のなか、だれ一人として欠けることなく全員が一つになって市の大会で三位をとることができました。初めての市の大会に緊張することなく、全員持てる力を出しきれたこと、とても楽しかったです。



人生初めての宣誓も体験し、とても心に残る大会になりました。これまでささえてくれた監督やコーチ、お父さん、お母さん本当にありがとうございました。

第三位

【旭区】

城北ユニオンズ

キャプテン 本田 悠悟

六年間の最後の大会でもとても緊張していました。準決勝でジュニアゴールドに抽選負けして三位でした。とても悔しかったです。来年のチームには、必ず市の大会に出場して優勝してほしいと思いました。

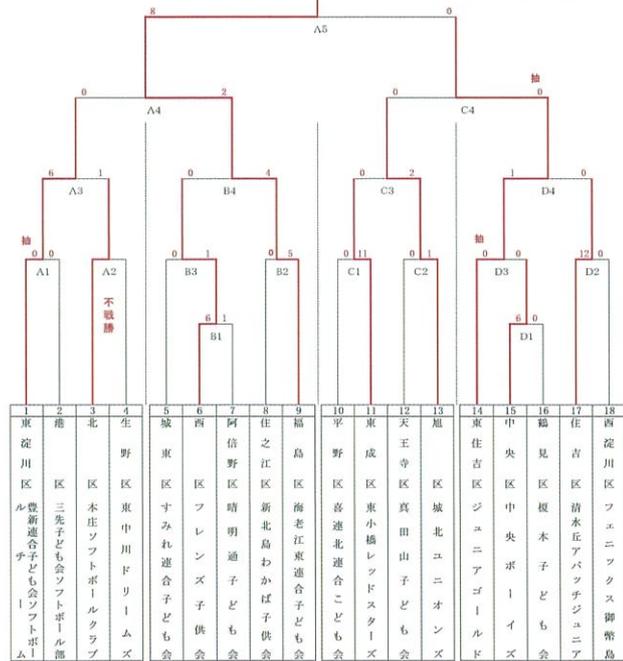


大会結果

第59回大阪市各区子ども会対抗親善ソフトボール大会

令和4年3月6日開催

優勝 福島区 海老江東連合子ども会
 準優勝 東住吉区 ジュニアゴールド
 第三位 東淀川区 豊新連合子ども会
 ソフトボールチーム
 第三位 旭 区 城北ユニオンズ

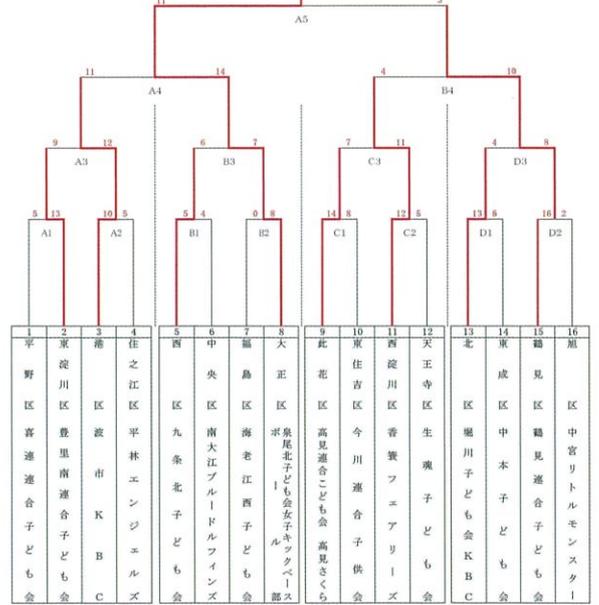


☆大会で贈呈される金・銀・銅メダルはオリックス・パファローズ様からの寄付です。
 ☆大会で使用しておりますボールは内外ゴム株式会社様からの寄贈です。

第48回大阪市各区子ども会対抗親善キックベースボール大会

令和4年3月20日開催

優勝 大正区 泉尾北子ども会
 女子キックベースボール部
 準優勝 鶴見区 鶴見連合子ども会
 第三位 港区 波市KBC
 第三位 西淀川区 普賢フェアリーズ



☆大会で贈呈される金・銀・銅メダルはオリックス・パファローズ様からの寄付です。
 ☆大会で使用しておりますボールは株式会社ミカサ様からの寄贈です。

第四十八回大阪市各区子ども会対抗親善キックベースボール大会開催♪

令和三年度の第四十八回キックベースボール大会は、相次ぐ緊急事態宣言やまん延防止等重点措置のため二回も延期したものの学年末には何とか間に合い、六年生が卒業式を終えたばかりの令和四年三月二十日の日曜日に開催されました。

コロナ禍で練習場所のグラウンドが使えなかったり、メンバーの人数が揃わなかったりとチームを取り巻く環境は厳しい中、各区の予選を勝ち上がってきた十六チームが日頃の練習の成果を発揮し、優勝を目指して一生懸命戦いました。

当日の朝はやや肌寒さが残る気温でしたが、日が高くなるにつれ、時おり上着を脱ぎたくなるほど暖かくなりました。

各コートに消毒液を完備するなど感染対策には細心の注意が払われ、マスク姿で一生懸命プレーする子どもたちに応援する保護者もマスク姿で熱い声援を送りました

様々な熱戦が繰り広げられた結果、決勝戦は大正区代表の泉尾北子ども会女子キックベースボール部と鶴見区代

表の鶴見連合子ども会が戦いましたが、泉尾北子ども会チームが堅い守りと着実な攻撃で、十一対三と大差をつけて圧勝しました。

コロナ禍で数多くのイベントが中止や延期されましたが、屋外でのびのびとプレーする子どもたちを見てみると、久しぶりにすがすがしい気分を味わえた一日でした。



優勝



【大正区】

泉尾北キックベースボール部

キャプテン 福井 優亜

私たち泉尾北キックベースボール部は、三年ぶりに市の大会に出場しました。一試合目でとても緊張して失敗もあつたけど、勝つて良かったです。二試合目は、油断せずに頑張つて集中してやりました。勝つて良かったです。三試合目は、始めは負けていてとても焦っていたけど、最後に逆転できて良かったです。決勝戦はかなり緊張しましたが、みんなで一生懸命頑張りました。その結果勝つて良かったです。泉尾北キックベースボール部での初めての市の大会優勝、すごくうれしかったです。

この優勝を誇りに思い、次の学年のみんなも絶対優勝してほしいです



準優勝



【鶴見区】

鶴見連合子ども会

キャプテン 村上 優月

コロナ禍でキックが出来なかった時期もあつたけど、チーム全員で力を合わせて二位になることが出来ました。これは監督、コーチ、両親が支えてくれたおかげです。

本当にありがとうございました。凄く楽しかったです。



第三位

【港区】

波市KBC

キャプテン 山田 響希

今回の市の大会では、一回戦目から強いチームとあたっていたので気のぬけない戦いでした。二回戦目もとても強いチームだったのでみんなで気を引きしめて挑みました。

みんなでたくさん点数をとって勝つことができたので、うれしかったです。準決勝では、点数の取り合いで最後まで守りきることができず、攻撃もうまくいかず負けてしまいました。とても悔しかったけど、三位という結果を残せて良かったです。



第三位

【西淀川区】

香簾フェアリース

キャプテン 高橋 優奈

市大会では決勝戦までは行けず、惜しくも三位でした。それでも、いつも以上にみんなで協力し、励ましあって、今までの練習の成果を見せることができました。

今回この市大会に参加できて、本当に良かったなと思いました。



リーダー研修報告

令和三年十一月二十七日、二十八日

にジュニア・シニアリーダー泊研修
会が、信太山青少年野外活動センター
で開催されました。

今回はコロナ禍での開催のため、感
染症拡大防止の観点から一般の子ども
達の参加を見合わせ、シニアリーダー
を中心とした研修会として開催されま
した。

単子子ども会や各区子連でもジュニ
ア・シニアリーダーの育成が課題とな
る中で、先輩リーダーの思いを如何に
つなげてゆくか、コロナ禍での活動、
研修をどのようにして開催するか。大
きな課題に対し、参加者が今後の子ど
も会活動や研修の進め方について様々
な意見が出て白熱した研修となりました。

参加したシニアリーダーの思いや、
考えを投稿いただいたので、今後の活
動のヒントに、新たなジュニア・シニ
アリーダーの育成の参考にしてみたく
ださい。

* 西本脩作 *

約二年間止まってしまった子ども会
活動のリスタートへ向けて、中学生、
社会人の子ども会スタッフ九名で、二
日間話し合いました。大きな声で歌っ
たり、友達同士でレクレーションをし
たりと、プログラムには接触が必ずつ
きまとうこの活動において、研修の質
を落とさずに安全に子どもたちに参加
してもらうには、様々なハードルがあ
ることを認識しました。
それらを受け入れた上で今後の活動
を考えたとき、確固たる回答には辿り
つきませんでした。例えばシチュ
エーションによって声のボリュームを
意識してもらおう為の指標を作ったり、
個人でできる工作を集めて【キャンプ
展覧会】を企画するなど、団体行動と
個人行動のバランスを見直すことで、
新しい研修を作っていけるのでは、と
いう意見はとても興味深く、まだまだ
新しい可能性が見いだせるなと感じま
した。

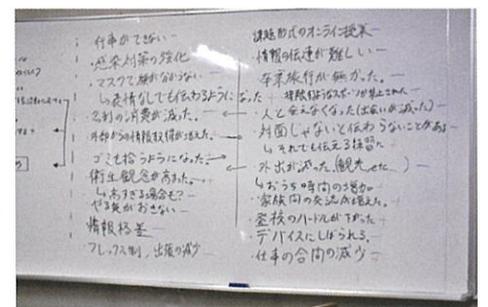
* 後藤智丞 *

今までの子ども会活動は子どもたち
の触れ合いを大切にしていたところ、
コロナ禍でそれが許されませんでした。
どうすれば子どもたちに安全に子ど
も会活動をしてもらえるか？どうすれ
ば安心して親御さんたちが送り出して
くれるか？を考える研修を信太山にて
行いました。

様々な世代・視点から子ども会活動
を見直すとても素晴らしい機会となり
ました。

リモートキャンプや個々人のクラフ
ト展覧会など、時代の流れに乗った意
見もたくさん出てきました。同時に、
今までの活動の流れを汲んで、キャン
プファイヤーは残してあげたいなどの
意見も多数出ました。

伝統継承と心機一転のハイブリッド
を念頭に掲げた子ども会活動を我々シ
ニアリーダーだけでなく、ジュニア
リーダーや保護者の方、引率の指導者
の方たちと共に作り上げてまいります。



* 小寺伸治 *

昨今、新型コロナウイルスが流行し、
多くの地域行事やスポーツ大会の中止
に悔しい思いを持つ中、「三密回避」
「マスクの着用」「大きな声を出さない」
など多くの課題をいかにクリアし、子
どもたちの笑顔のため、地域の活動を
どのように実施するのか、シニアリー
ダーの資質の向上を目的とした研修会
に参加しました。

研修では、社会人・大学生・高校生・

中学生とそれぞれの立場から、それぞれの生活の中で、どのように新型コロナウイルスと向き合っているのか、不満や不安、逆に良かったことなど話しに華を咲かせることができ、密な話し合いができました。

そのことを踏まえ『withコロナ』とし、実際にスタンツ(レクリエーション)やジュニアリーダーを対象とした研修会の改善案を上げました。「V・V (voice・volume)」やオンライン研修会の実施など各地域でもすぐに活かすことができる意見を広げることができ、大きなお土産を持って帰ることができました。

この研修に参加し、「子どもが安全に参加できる」「保護者が安心して参加させることができる」ために、私たち自身、日々進化し続けることが大切だと改めて考える機会となりました。時代が変化化する中、「子どもたちの笑顔のため」という不変な気持ちを大切にこれからも進化していきたいと思

* 椎橋 (野見) 優紀 *

約二年間、コロナ禍において子ども会の活動ができませんでした。

今回はスタッフだけの一泊研修に参加し、中学生から社会人の子ども会スタッフ九名で活動再開に向けた話し合いをしました。

研修では、自身の新しい生活様式で困難に感じたことや良かった点について、それぞれに置かれた状況から話し合うことができました。それらを踏まえた上で、一泊研修において研修生の子どもたちに何を伝え、楽しく安全に活動できるのか、意見を出し合うことができました。

以前までできていた「大きな声」「手を繋ぐ」「楽しい食事」といったことができなくなり、十分な感染症対策をとりながら行う研修内容に課題が見えてきました。それらに対して、場面ごとに声の大きさを変えることや声を張らず接触しないレクリエーション、少人数制のグループワーク等、個人あるいは集団でできる工夫を考えることができました。



地域活動報告

コロナ禍の中での各区校下での活動状況報告の紹介を依頼したところ、浪速区さんから報告がありましたのでご紹介します。

これからの活動の参考にしてください。

浪速区こども連合協議会

広報調査部長 橋本あず美



浪速区こども連合協議会では『第四十七回ナニワ区民まつり』のYoutubeでの団体紹介動画に参加させていただきました。

今年度もコロナ禍の影響で、行事を開催することが出来ませんでした。活動目的でもある『子どもたちに様々な体験と挑戦の場を創造する』という部分を表現するため、わたしたち大人がさまざまな『挑戦』をしました。

動画内容は、有名なこども番組で歌われている『ぼよよん行進曲』を大人が歌い、踊るというものです。



それだけでは観ている子どもたちが飽きてしまうと思い、浪速区長や浪速区にある六小学校の校長先生にも参加していただきました。また、会長が得意なマラソンをしながら通天閣や今宮戎神社、難波八阪神社や汐見橋駅など浪速区の二十四スポットを紹介しました。

最後には、各メンバーの特技を活かしたショートムービーもある楽しい動画となっています。

こどもたちの笑顔に少しでも早く会えるように、いつでも行事を再開できるように準備を整えながら、「歩き」「進んで」「いこうと思います」(動画のQRコードです。ぜひ奮闘ぶりをご覧ください。)

令和三年度 大阪市子ども会育成連合協議会表彰



令和三年度大阪市子ども会育成連合

協議会の表彰式が、令和四年二月六日
予定の中央研修会にて開催の予定でし
たが、新型コロナウイルス感染症拡大によるま
ん延防止措置期間であったことから研
修会が中止となったため、表彰式も中
止となりました。

表彰状の伝達は各区区子連にて行わ
れ、以下の表彰者と表彰団体に賞状の
授与がなされました。

個人表彰

此花区 前原 芳典 様
あきさ 様

港区 入江 真太郎 様

淀川区 金光 秀人 様
恵子 様

生野区 岡田 普佐一 様
明子 様

個人表彰

淀川区子ども会連合協議会

木川南連合子ども会

金光 秀人

この度の受賞、誠にありがとうございます
います。

私が子ども会活動に携わったのは長
女が小学校に入学する前でしたが、今
春には大学を卒業し社会人となります。

この長きに亘り活動を続けられたのも
私一人の力ではなく、子どもたちの笑
顔とご協力頂いた皆様のおかげです。

残念ながら、この二年間は新型コロナ
ウイルスに振り回され、今までのよ
うな活動はできませんでした。来年度
以降は、より活発で楽しい活動ができ
ることを祈念し、お礼のご挨拶とさせ
て頂きます。

団体表彰

此花区

あゆみ子供会 様

港区

波子子ども会 様

団体表彰

港区子ども会育成連合会

波子子ども会

代表 三野 修一

この度、団体表彰を頂いた事に感謝
いたします。

我が子ども会は十年そこそこのまだ
出来て若い子ども会です。

この感染症の中、子ども会も意気消
沈している中で、このような賞を頂けた
事を活力として、これからも地域の子
ども達の為に頑張って行きたいと思
います。

本当に有難う御座いました。

編集後記

本号で中央ブロックが担当した「い
くせい」の発行が最後となりました。

新型コロナウイルス感染症拡大の中、緊急事
態宣言や蔓延防止措置による活動制限
により、子ども会活動が思うように開
催できず、広報部会としてどのような
内容で「いくせい」を発行していくか
大きな課題となりました。

例年は各区区子連、各単位会の活動
状況の紹介が中心でしたが、紹介でき
るような活動自体がコロナ禍により実
施できず、結果的に紹介できる記事の
作成ができない二年間でした。その中
で、開催された市子連行事や市子連の
専門部会紹介等市子連の組織について
の紹介などが中心となってしまいました。
た。

各区の広報部長には十分な部会の開
催も出来ずに申し訳ありませんでした。
次号以降の「いくせい」がみなさんの
活動状況の作成になる様に期待したい
と思います。

二年間ありがとうございました。

広報調査部長 菅野